

1. 科目名 (単位数)	基礎演習Ⅱ (1単位)	3. 科目番号	GEBS2108
2. 授業担当教員	武内 智弥		
4. 授業形態	演習、発表、グループ討議	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>心理学は科学として在ることを示すことで生まれ、また経験と実践の学としても積みあげられてきている。学問としての心理学を学んでいくにあたり、心理学的なものの方や考え方を養うことは欠かせない。これは、先人の研究成果を正確に読み取り、自身の意見を論理的に組み立てることであったり、臨床心理学的な観点から人間理解を深めることであったりする。</p> <p>本講義においては、心理学の専門的内容を学び始める準備として、心理学の基本的なテーマを取りあげながら、基礎的な知識を身につけると同時に、学問としての心理学の視点・観点を身につけることをねらいとする。講義においては演習や議論、発表を通して、知識と同時に体験的な理解を深めていく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 心理学的なものの方や考え方を体験的に身につけていく。 2 心理学の基本的なテーマについて基礎知識を学ぶ。 3 自ら学び、まとめる過程を通して、心理学的視点を身につけ、応用する力を養う。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	<p>学期中に、以下の2つのレポートを課します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分で選んだ心理学の学術論文についてまとめること 2. 授業で扱ったことについてまとめること 		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 指定無し</p> <p>【参考書】 ・大山正・中島義明 (2012). 新心理学ライブラリ 実験心理学への招待 [改訂版] ー実験によりこころを科学するー. サイエンス社</p> <p>・松井豊 (2010). 改訂新版 心理学論文の書き方ー卒業論文や修士論文を書くために. 河出書房新社</p> <p>・B フィンドレイ (著) 細江達郎・細越久美子 (訳). 心理学実験・研究レポートの書き方. 北大路書房</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)心理学的なものの方や考え方を体験的に身につけることができたか。 2)心理学の基本的なテーマについて基礎知識を学べたか。 3)自ら学び、まとめる過程を通して、心理学的視点を身につけ、応用する力を養えたか。 <p>○評定の方法</p> <p>学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業への積極的参加や発言)50%、試験にかわる課題レポート50%として算出した合計得点により成績評価を行う</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>この授業は心理学の基礎的な表現や思考の仕方を理解し、『心理学実験』などの、今後の授業に必要なレポート作成を中心とした知識・技術を身につけるための授業です。授業態度に関する加点・減点の具体的内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中は、よく聞き、よく考え、そして復習をすること。 2. ディスカッションやグループワーク等において、自主的・主体的かつ協力的に学習を進めること。 3. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退、中抜けをしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4. 携帯電話・スマートフォンの授業中の作動は厳禁とする。他の受講生の学習に迷惑をかける行為(私語、居眠り、グループ活動に協力しない等)を慎むこと。 		
13. オフィスアワー	別途通知します		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	心理学のレポートと文献の種類について	事前学習	心理学概論で習ったことについて復習しておく
		事後学習	配付資料・ワークへの理解を深める
第2回	文献の検索・入手の方法と、論文の構成について	事前学習	インターネットで論文検索を試してみる
		事後学習	検索した論文を実際に入手して読む
第3回	心理学論文における序文について	事前学習	参考書・配付資料を読んでおく
		事後学習	論文の序文の役割を理解する
第4回	心理学論文における方法について	事前学習	参考書・配付資料を読んでおく
		事後学習	論文の方法の役割を理解する
第5回	心理学におけるクリティカルシンキングについて① 原因帰属について	事前学習	自分の物事の方や考え方を振り返っておく
		事後学習	自分の考え方の傾向を知った上でどう心理学の学習に取り組むかを考える
第6回	研究計画による解析方法(統計)の選択について	事前学習	心理統計法をおさらいしておく
		事後学習	授業で行ったワークを中心に復習し、理解を深める
第7回	心理学論文における結果について 統計結果の書き方 を中心に	事前学習	心理統計法をおさらいしておく
		事後学習	授業でおこなったワークを中心に復習し、理解を深める
第8回	心理学論文における図表の描き方について ルールや	事前学習	参考書・配付資料を読んでおく

	方法を中心に	事後学習	自分なりにルールをまとめる
第9回	心理学におけるクリティカルシンキングについて② 確信について	事前学習	自分の物事の考え方を振り返っておく
		事後学習	自分の考え方の傾向を知った上でどう心理学の学習に取り組むかを考える
第10回	心理学論文における考察について	事前学習	参考書・配付資料を読んでおく
		事後学習	論文の考察の役割を理解する
第11回	研究のデザインの検討	事前学習	これまで習ってきた心理学の研究が、どのようなデザインで行われていたかを復習しておく
		事後学習	研究のデザインの中で、自分が理解できていなかった点を複数する
第12回	被験者内のデザインの実験・調査の体験とまとめ	事前学習	心理学における実験について調べる
		事後学習	行った実験について、まとめる・振り返る
第13回	被験者間のデザインの実験・調査の体験とまとめ	事前学習	心理学における実験について調べる
		事後学習	行った実験について、まとめる・振り返る
第14回	得られたデータの整理の仕方	事前学習	データの整理の仕方について調べておく
		事後学習	行った研究から得られたデータについて、まとめる
第15回	この授業で学んだことのまとめ	事前学習	これまでの授業内容をおさらいしておく
		事後学習	学んだことを指定の用紙にまとめる